

## 平成28年度 第2回山陽小野田市公民館運営審議会 議事録

○日 時 平成29年3月21日（火）10時～11時30分

○場 所 山陽小野田市役所 3階 大会議室A・B

○出席者

・運営審議会委員13名

(岡本会長、水田副会長、吉川委員、大本委員、平野委員、藤田委員、高橋委員、平中委員、大森委員、千々松委員、河口委員、石川委員、森本委員)

・事務局19名

(尾山教育部長、和西中央公民館長、臼井課長補佐、西村係長、升谷社会教育主事、柿並主任主事、下瀬学校教育課主幹、松浦CSコンダクター、神徳本山公民館長、木原赤崎公民館長、藤村須恵公民館長、岡田小野田公民館長、谷岡高千帆公民館長、山下有帆公民館長、江中厚狭公民館長、能勢出合公民館長、佐々木埴生公民館長、小野山厚陽公民館長、増本厚陽公民館主事)

○欠席者 2名（中務委員、松岡委員）

○審議会の成立 委員15名中13名出席

運営審議会規則第3条第3項により成立

### 臼井社会教育課長補佐

定刻になりましたので、会議を始めさせていただきたいと思います。委員の皆様方には、公私ともご多忙の中ご出席いただき、厚くお礼申し上げます。本日の司会、進行役を務めさせていただきます社会教育課の臼井です。よろしくお願いたします。まず、資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただいた資料としまして、公民館運営審議会次第、それから平成29年度各公民館事業実施計画書（資料1）、公民館関係新聞掲載記事等（資料2）、埴生地区複合施設整備事業について（資料3）、宇部日報掲載記事【優良公民館表彰受賞（厚陽公民館）】（資料4）があろうかと思っております。お手元に資料が不足ということがありましたら、お申し付けいただければと思いますがどうですか。よろしいでしょうか。それでは、ただいまより平成28年度第2回山陽小野田市公民館運営審議会を開催いたします。冒頭部長よりご挨拶いたします。

### 尾山教育部長

皆さん、おはようございます。今日は大変お忙しい中を、このようにお集まりいただきましてありがとうございます。本来でしたら教育長が参りましてご挨拶しなければなりません。ただいま市長、部長とする庁議という幹部職員が全員参加の顔をそろえて、市の当面の課題をどうしていくかということの協議をする会議が開かれておりまして、ちょっとまだ終わってないんですけれども、私ちょっと抜けて今こちらの方に参らせていただい

おります。教育長もこの会議が、後から急に入ってきたものですから、教育長もなかなか調整が難しく、市長部局のほう、それで私が代わりにご挨拶することをまずもってお詫びを申し上げたいと思います。申し訳ございません。去年の秋口からですね、この3月にかけては、各公民館で日頃の学習の成果を発表する公民館祭りが、各地域で非常に盛大に執り行なわれまして、私もちょっと行ってきたんですけれども、大変華やかで教育委員会としても非常に頼もしく思ったところがございます。そうした祭りの開催につきましては、皆様方に大変日ごろからご尽力いただいておりますし、お世話になっておりますことを、まずもって厚くお礼を申し上げたいと思います。また、この2年間学校運営協議会におきまして、コミスクですけども、こちらのほうにも皆様方にも入っていただきまして、非常に学校支援、そして、地域貢献ということでご尽力をいただいておりますことを、重ねて厚くお礼申し上げます。今国会において今、社会教育法の一部の改正法案というのを審査をされておまして、ますますこれから公民館の位置づけが、重要になってまいりようになっております。学校と地域がさらに絆を深めてということで、今、学校支援地域本部というのがございますけども、これが地域学校協働本部ということでよりいっそう一体化して地域をよくしていこう、子供をいっぱい育てていこう、学校を支援していこうという取り組みがさらに始まろうとしています。詳しいことはまだわからないのですけれども、わかり次第、また皆様にもご案内をさせていただきます。より山陽小野田市が発展できるように努力してまいりたいと思いますので、また今日もお手をわずらわせませすけども、ご指導の方をよろしく願います。以上でご挨拶にさせていただきます。以上よろしく願います。

#### 臼井社会教育課長補佐

つづきまして、岡本会長からご挨拶賜りたいと思います。

#### 岡本会長

みなさま、おはようございます。今日は第2回の公民館運営審議会ということで、ご出席をいただきましてありがとうございます。今お話がありましたように各公民館を中心として、あるいは他の施設を有しながら、各地でいろんなイベントが続き展開されております。私もだいぶ行きましたが、今年の3月に入って非常に天気がいいですね。どこの会場も雨天に泣かされたことがないんじゃないですか。ということで、市民の方々がいろんなところに出かけておられるんです。昨日ちょっと江汐のほうへ行きましたけども、近年にない参加者が多いかというふうに聞いております。どこも天気次第ということもあろうかと思いますが、そういうことで市民の皆様方は、天気が良ければ出かけてみたいというのが非常にあると思います。そして出かけましたら、いろんなご意見をやっぱり聞いています。私も昨日はちょっと2件ぐらい、ちょっと話したいということでね、ご意見を拝聴しましたけれども、いろんなところにやっぱりできれば、こういう色んなディスカッションがやれる機会が増えるというふうに思っています。まあそれでひとつ、非常に意義のあることであらうという

ふうに思います。それから今、お話がありましたように、コミスクの関係ですけれども、地区をあげて、あるいはその前の関係者が、いろんな面でご支援申し上げていると、まあこれは当然だろうというふうに思います。支援しながらですね、学校も良くなってもらいたい、逆に地域も良くなってもらい。ということで皆様方も息を長くですね、このコミスクについては協力していくということでもあります。ですが、私がコミスクを守るか地域を守るかですね、学校に対してあるいは他のところに対しても、アプローチするというのは、これはまあ当然だと、しかし逆の方向もあるんじゃないかと。一方的な面もですね、ちょっとまずいんじゃないかなという気持ちもあります。ですから、うける側ともですね、ギブは受けると言ってはちょっとおかしいんじゃないかと思うんですが、やっぱりそういう関係を築かなければいけない、一方通行するとだいたい無理な展開が発生してきて、うまくいかない面がでてくるんじゃないか、という気持ちがしております。今日は第2回の運営審議会ということでございますので、できるだけ要領よく、短時間で終わりたいという希望をもちしております。ご協力いただくことをお願いいたしまして、ご挨拶に代えさせていただきます。今日はありがとうございました。

#### 臼井社会教育課長補佐

ありがとうございました。議事に入ります前に、本会の成立についてでございますが、本日参加は13名の委員さんでございますので、公民館運営審議会規則第3条の規定によりまして、本会議が成立しておりますことをまずもって報告させていただきます。また、執行機関の附属機関における審議会等の会議に関する要綱に基づきまして議事録を作成し、市ホームページで閲覧に供することになりますのでご了承いただきますようお願いいたします。それから申し遅れましたけれども本日、事務局サイドにおきまして高泊末富館長がお身内の関係で欠席になっております。ご了承いただきたいと思っております。それでは公民館運営審議会規則の第3条第2項により審議会の議長は会長となっております。以降の議事進行を岡本会長にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

#### 岡本会長

それでは進行させていただきます。ご協力をお願いいたします。早速議事に入りたいと思っておりますが平成29年度各公民館利用実施計画案について議題といたします。公民館の方から主なところの事業について報告をお願いいたします。

#### 和西社会教育課長

委員長、よろしいでしょうか。社会教育課和西です。よろしくおねがいします。今から、各館の館長から資料1に基づいて、計画案の説明を簡単にさせていただこうと思っております。今回資料2をつけさせていただきました。公民館に限らず、今社会教育と学校教育を一緒になって進めていこうということで、多様な活動が各地域においてなされております。新聞記事、

それから公民館の方でつけた資料もありますが、そのあたりをつけさせていただきました。この資料1と資料2について、各館の方から説明をさせていただき後ほど、委員の皆様からご意見をいただければ、というふうに思います。それでは、本山の方からよろしく申し上げます。

#### 神徳本山公民館長

それでは失礼いたします。本山公民館です。事業計画書の1ページ目と2ページ目が本山公民館の関係になっております。平成29年度につきましては、ここに重点として書いてありますように、今までの講座の反省と、それから、新しいものを作っていこうというものと、地域の人材とか地域の物的資源を積極的に活用、利用していこうということで、取り組んでいきたいと思っております。そこに講座等が書いてありますけど、まだ未定の部分がありますけれども、今申しましたように新規講座としては、これまでなかったもので、園芸に関すること、それから健康に関すること、それから2ページ目になりますけれども、料理教室もですね、マンネリ化したらいけないので、現在の料理教室を変えていく、あるいは子供たちが参加できるものとして、そこにありますように夏休み中に水 Rocket と英会話等が、こういうふう子供たちが、公民館のほうに出てくれる。先ほど会長さんも言われましたように地域の方が学習支援とか、あるいは小学校の活動をボランティアとして積極的に補助されておりますけれども、本山校区におきましては、そういうふうに逆に子供たちのほうもですね、公民館あるいは地域の行事、あるいは、先日もですね、3月12日にありました『本山フェスティバル』ではですね、小学生とかあるいは竜王中学校の生徒がボランティアとしてですね、かなりの人数が手伝っていただいております。そのように、行事においても、竜王中学校あるいは小学生がボランティア活動で協力してくれてる、という現状がありますので、やはり双方向のそういった行き来が必要だろうと思っております。それから、あとにつきましてはですね、写真のほうですね、資料2の1ページになりますけれども、そこに活動の様子が三枚の写真で示してあります。左上のほうはですね、これは七夕かざりを作っている様子です。約100名余り、これは大人から子供を含めてですね、100名余りの方が、半日かかって、そういった飾りを作っていただいております。それから右側は、盆踊りというか、その時に、公民館クラブの方が、発表しておられる様子です。下の写真はですね、つい先日2月28日と3月7日に、『千林尼の道と船木宿』ということで、歴史講座を行ったときのこれは2月28日の学習の様子です。それから、3月7日は宇部の棚井から船木ですね、その石坂道を歩きました。これも大変好評で25名、ちょうど市のマイクロバスいっぱい分の参加者が来られました。そういうように最初に申しましたように、昨年度の反省をいたしながらですね、地域の方がこういったものに参加したいとか、そういうようなご要望も含めて、29年度の計画を立てたところです。以上です。

#### 木原赤崎公民館長

それでは、赤崎公民館の29年度の事業実施計画を説明させていただきます。一昨年から赤崎小学校でミシン、裁縫の授業の支援活動をしておりますが、さらに学校との連携を深めるため、講座、人の活性を計りたいと考えております。3ページにあります、高齢者対象の『竜王しらさぎ大学』、これは年に9回実施しております。講座の内容は歴史、健康、環境問題など、様々なテーマで講師を招き開催しております。第6回目の山陽小野田市の『開作の歴史』について、今回は会場を赤崎小学校に移し、地域の歴史を地域の人と児童と一緒に学習する計画を学校のほうに申し入れ、学校の年間行事予定表に入れていただきました。また、ミシン、裁縫事業の学習支援、他に2学期から始まるクラブ活動への参加、これらは参加者の高齢化によりまして、公民館からの応援だけでは十分な支援ができないため、父兄と一緒に実施しております。新規講座を企画して、新たな人材育成を図りたいと考えております。今回この創作の方に書いてあります、『さげもんづくり教室』、小物づくりその他絵手紙、これはなるべく60歳前後の方に的を絞って募集をかけたいと思っております。それと資料2の14ページにあります、『タイムトレジャー20』というものを公民館に設置しております。これは赤崎小学校運営協議会が設置したもので、今から20年30年前ころにはやりました、タイムカプセルというものがありませんでした。このタイムカプセルは、地中に埋めて、20年30年先にどこにいったかわからないということから、今回スチールボックスを設けて公民館に保管しております。そして、この小学生の思い出の作文を書いて頂いて、8年後にまた、公民館で再会する約束をしております。以上で赤崎の報告を終わります。

#### 藤村須恵公民館長

続きまして、須恵公民館の29年度の事業実施計画の概要でございます。ご説明いたします。特に須恵公民館で主要な講座といたしまして、教養講座ならびに、4年目になりますが、歴史講座、これは大変好評でございまして、来年度は講師の充実につきまして、いろいろ折衝しておるところでございます。もう一点につきましては、学校との連携、コミュニティスクールの関係がありまして、去年は寺子屋ということで、公民館で3日間にわたりまして子どもたちと一緒に各クラブの受講生たちも一緒でございましたが、楽しい時間を過ごさせていただきました。来年度もこのような計画をしておるところですけれども、会場は公民館、または学校でもいいんじゃないかなというふうに思っております。それから、小学校、中学校の先生方と協議するということもございます。以上でございます。

#### 岡田小野田公民館長

続きましては小野田公民館です。重点施策の中にも記入されていますように、地域からの要望に応えた講座を2つ入れております。それが『クラフトバック教室』と『将棋教室』です。将棋教室は最初の年度は参加者が5名でしたけれど、今年は7名の方が参加されました。この参加された理由が、家の前に将棋のできる人がいませんかという貼り紙を見て、ああ自

分も勉強してこの人の相手をしてあげたいという気持ちになったということで参加されました。こういう人たちをどんどん増やして行って、そういう地域の要望に応じていきたいと思います。それから、今年の講座の中で人権教育の事業を3つ入れております。その中には小学校での人権教育もありますし、公民館の中の雑学の中にも人権講座を2件入れております。

あと小学校、中学校とのつながりを持つための人権教育もその中に入っております。夏休みの作品作りに小学生の親御さんたちが、苦勞しないように、できるだけ公民館で毎年違ったものを作って、子どもさんたちが夏休みの作品づくりに、少しでも協力できたらいいなと思ひまして、今年もたくさんの方の昨年と違ったものを取り入れております。以上でございます。

#### 高泊公民館（和西課長代弁）

すみません、高泊は館長が欠席のため、私の方から説明させていただきます。資料1は9ページ、10ページあるんですが、資料2の方をちょっとお話させていただきます。資料2の10ページ、右上のページになるんですが、10ページになります。今年度、高泊小学校で実施しました、公民館の講座、『しっちょる高泊の歴史』です。これ非常に評判が良くて、来年度も同じ講座を講師を変えて実施していきたいと、館長は思っております。地域には高泊の歴史に詳しい方が多数おられて、児童と地域住民が郷土の歴史を同じテーブルで学んで、それを伝承していけることが大切だと思っております。また公民館講座をこのように学校で開催するケース、を今年度の1件から来年度は3件、6回に増やしていきたいということで、学校と調整しておるといふふうに館長は申しておりました。この講座、私も見に行かせていただいたんですが、各地域の方々と自治会ごとに分かれて班で座られて、船越の方、烏帽子岩の方、地域の子どもと地域の方が一緒に学ぶということをされておりました。なぜ船越という地名なのかとかいうあたりとかを、講師の方が興味深く説明されておられて、非常に子どもも地域の方も有意義な場だったのではないかと思います。今年これ『地域力、学校力、家庭力向上プロジェクト』で、ぜひ公民館の講座を学校でということで投げかけたところ、学校のご協力を得て実施できたと、また来年も続けられるということで素晴らしいことだなと思っているところです。高泊からは以上です。

#### 谷岡高千帆公民館長

つづきまして高千帆公民館の計画をご説明させていただきます。事業計画といたしまして、地域の方々が関心を持っていただける講座、それから、コミスクについて、地域の方と学校との交流がついてる講座というのを念頭において考えさせていただきました。また、地域にいらっしゃる人材の活用ということも大きな目的として考えておられて、地域でいろんな能力をお持ちの方がいらっしゃいますので、その方たちのお力をお借りしながら、地域の輪を広げていければ、もっと小学校等に、一緒になってコミスクを推進していければというふうな形で考えさせていただいております。特に、新年度私どもの方でアピールしてい

きたいのは、例えば先ほどいいましたように地域の方をということで、地域の絵の先生がいらっしゃいますので、絵画教室を新規に始めさせていただこうと思っております。また、地域で英会話の、イギリス人の方なんですけれど、これまで大学等で英語の教師を勤めてこられたんですが、そろそろ地域のためにも何かしたいということをおっしゃっていただいておりますので、地域の中で動かれていかれるような形で取り組んでいければということで、『高千帆大学』で一回限りではありますが、英会話についてということで講演をしていただく。また、地域で病院の先生等がいらっしゃいますので、脳についての、病気についてのお話をさせていただいたりとか、市民病院の薬剤師の方に、薬についてのお話をさせていただくとかいうことも考えております。また、やっぱり、子どもたちが、公民館にどんどん出入りしてくれることによって、学校とのつながりが深まっていくんじゃないか、ということも考えておまして、今年度につきましては、新たにフォークダンスをやってみて小学校、中学校の生徒さんを、公民館のほうに来ていただいて、一緒になって心身ともに鍛えるといえますか、健康に育っていくように、というような形の中で、交流を深めていければというふうな形で、計画をさせていただいております。以上です。

#### 山下有帆公民館長

引き続きまして、有帆公民館のほうから説明をさせていただきます。重点施策といたしましては、公民館学習フェスタの充実を図るため、この学習フェスタと小学校学習発表会の合同開催をすると、いわゆる公民館クラブで、学習発展の場として、公民館独自で行っているフェスタと、小学校の学習発表会の合同で一箇所で開催すると、これが一番、来年度の事業として、私ども有帆公民館としては大きな計画としてあげております。それから、二番目として、公民館クラブの学習成果を生かすとともに、学校との連携を推進するというので、資料の方に例もあげておりますけど、資料の2の3ページに、有帆公民館のクラブ生による地域活動の様子というのをあげております。今年の一月から、クラブ生の作品を小学校のほうに展示させていただいております。まあ、小学校のほうは、コミュニティルームに通じる箇所ですが、そこを『コミスクギャラリー』と銘打っていただいております。そこに、クラブ生の作品を展示しております。一応予定としては、一ヶ月ずつですね、交代で作品を入れ替えて、展示をさせていただいております。それから、これは数年前からやっておりますけど、小学校の課外授業に参加ということで、各クラブのほうから、今年度については水彩クラブの方が、計3回ほど学校に行かれて、児童にいろんな指導をしいかれております。それとあわせて、資料のほうで説明させていただきますけど、ここも同じように、これは9ページにありますのは、以前クラブ員の方が、児童のほうに交流を含めて、これ、茶道ですけど資料が載っております。それから、今度は逆に小学校のほうから、いろんな地域といえますか、公民館のほうへ活動していただいた、ボランティアとして活動していただいた事例が、12ページと13ページに載っております。12ページにつきましては、先ほど言いました、学習フェスタの中で、茶道クラブによるお茶会、お茶席といえますか、あるんです

けど、それにお茶をですね、こられたお客さんに、子供たちと接待をしていただきました。それから、13ページにつきましては、これは毎年小学校のほうから、ボランティア活動、奉仕活動として行っていただいておりますけど、公民館周辺を5、6年生に清掃をしていただいております。それから、事業計画のほうに戻らせていただきます。重点施策の最後はですね、地域の方が触れ合う交流の場として、また、楽しい学習の場となるような公民館運営を実施したいと考えております。それと新たな企画した講座ということで、山陽小野田市の観光であったり、歴史であったり、いろんなものを十分に学んでいただいて、それが観光検定に役立つものになればいいなということで、特別講座というように、観光検定特別講座というものを考えております。ただ、観光課のほうからちょっと言われまして、あまりにも、ちょっと直接的な名称なので、これについては、ちょっと検討してほしいと言われましたので、申し訳ありませんけど、観光検定というところは、ちょっと一応削除していただけないでしょうか。また、新たな講座名をきちんとやりたいと思います。これについて、やることについて、観光課のほうもぜひ、ということをお願いしておりますので、ぜひやっていきたいと思っております。それともう一点、どうしても、講座につきましては、女性の方が多いのですが、男性の方をぜひ呼び込みたいという狙いをもとに、一番下にあります、創作のところ、『大人の挑戦ものづくり体験教室』ということで、3つの体験教室を1セットで、受講を呼びかけたいと考えております。それがきっかけとなって、また男性の方に、公民館にぜひたくさん来ていただけるようになればと思っております。以上でございます。

#### 江中厚狭公民館長

続きまして、厚狭公民館でございます。ページの16、17に掲載いたしております。一番最初に書いてあります、家庭園芸教室でございますけれども、回数を見ていただきますと、年間24回、月2回平均で大変多い講座になっております。内容を充実しようということと、受講生が大変本気であるということで、その回数になっております。29年度も回数をしっかりしながら、内容の充実を図りたいというふうに思っております。それから、二番目に書いております、陶芸教室でございますけれども、公民館が以前のところに窯を別館で設置していたんですけども、昨年2月に複合施設ということで、公民館のほうに窯を置くことも難しくなりましたので別の場所に、いわゆる陶芸の建物ができまして、その建物が出来上がったのが、この2月でございましたので、実質、昨年秋くらいに予定しておりました陶芸教室が、28年度については十分できませんでした。29年度に、今申し上げましたように、施設が新しくなりましたので、そこで、皆さんが今下準備ということで、先だってから、大変本気になっておられて、29年度には、充実した陶芸教室ができるんじゃないかと思っております。それから、中ほどの下に教養のところが高齢者、女性が対象の寿大学、婦人学級、28年度と変わっておりませんが、皆さんの希望を聞きながら、講師と充実を図って、中身を充実していきたいと思っております。それから、下から二番目にパン作り教室というものを、夏休みに親子でやっておりますが、去年、午前だけの予定でしたけれども、大変参加者が多



くて、断るのもどうだろうかというように講師の方が言われた関係で、午前、午後と分けました。今年度については、講師と打ち合わせをする中で、初心者向けと、それから少し、パン作りをやっていらっしゃる方向け、親子向けというのに分けてやろうか、というふうに思っております。それが、これまでも3回も4回も参加される親子もありますので、いわゆる初めてこられる方と、少し中身を変えながら、より充実したパン作り教室になるんじゃないかという、こういった提案もありまして、今年度は、そういうふうにさせていただきたいなと思っております。それから、ページをめくっていただいて、主催講座ではありませんけれども、資料の2の16にもついておりますし、記事もついておりますけれども、一番下に松嶽山の初日を迎える会、これはもう、厚狭だけではなくて厚狭地区と出合地区、厚陽地区の3地区のふるさとづくり協議会が、主体になっておりますけれども、今年度は特に、厚狭中学校の3年生を中心に生徒がたくさん来てくれまして、25名と新聞には書いてありますけれども、そういったこともありまして、参加者が新聞には150名と書いてありますけれども、実際は200名くらいの方がこられたように思います。大変天気も良かったし、ご来光を仰ぐことができ、参加者も大変満足されたように思いました。ぜひ、これは主催はふるさとづくりでありますけれども、公民館も一緒になって続けていきたいなと思っております。28年度が52回でしたから、この29年度から実現できれば、53回という、大変歴史のある回となっております。以上でございます。

#### **能勢出合公民館長**

それでは、続きまして出合公民館でございます。資料の方は18、19ページでございます。出合公民館は、利用者の数、様子といいますか、アンケート調査によりますと、利用者が非常に高齢化して、それから固定化しておる、というような傾向がみられました。そこで、より多くの住民が集って、地域に開かれた公民館運営というのを大きく掲げました。そして、一般向けの講座に対しては、今まである講座をよりいっそう充実するとともに、その中でも新しいメニューを見込んでいくということ。それから、特に、また、若年層の利用が少ないということがありますものですから、子供向け、それから家庭向け、親子向けといいますかそういう講座を仕組むように考えました。その代表的なものでございますけれども、18ページの上から二番目、健康講座。これは、昨年度から始めた講座でございますが、今までは、出合地区の中で、教養講座の中に健康も一緒に扱ってございましたけれども、そういった健康に関する、高齢者が非常に多いものですから、高齢者の健康というものを私も考えて、健康と、それから、ふれあい、そういったものを兼ねて、健康講座というものを仕組みました。それから、この三段目にあります、防災講座でございますけれども、出合地区は、水害に遭ったということもありまして、非常に防災に対する関心は高いものがあります。そこで、地域に防災士さんがおられます。その防災士さんが眠っておるということ。そういうこともありまして、その防災士さんをしっかり活用しよう、それからそれを中心にして、防災意識を高めたいこうということで、防災講座を仕組んでおります。これも、来年度も充実して、それか

ら続けていこうと考えております。それから、19ページの方では、親子というか、家庭教育。この辺で、子育て教室、これも28年度から始めてやったわけでございますけども、地域の、地域に母推さんがいらっしゃいます。この方たちをしっかりと活用していこうということで、母推さんをお願いいたしまして、主にこの講座で、親子で一緒においでになるものですから、その子供の面倒をみてもらう。それから母親としての経験についても親の方に話してもらおうというようなことで、子育て教室、これを企画しております。まだまだ、参加者は非常に少ないわけですが、本年、29年度もよりいっそう充実させていこうと考えております。その他でございますが、ふれあいというところの一番下のどんど焼きあたりでございますが、地域行事と一体化してやっておりますが、この中に学校との連携を踏まえて、昨年度はどんど焼きの時に、年頭の誓いに小学生を入れまして小学生に10名ほど、発表していただきました。今年度については、28年度、この前の1月のどんと焼きでございますが、このときは、中学校のほうにもお願いをいたしまして、中学生、それから小学生、このほうに年頭の誓いを言ってもらいました。非常に地域の方にも好評でありました。それから、資料2にいきます。19ページ、一番最後のページだろうと思いますが、これに夏休み子ども教室の様子が出ております。うちの公民館では、夏休みに子どもたちにも公民館にきてもらいたい。それから、公民館クラブで活動されている人に活躍の場の提供といえますか、そういった場のひとつとして子ども教室を設けております。この上の写真、両方二枚は、料理教室の皆さん方に子どもクッキングのほうの指導をしていただいたときの写真です。それから、次の二枚の写真は、書道教室の皆さんに子どもたちの夏休みの宿題の書道、これについて指導をしていただいたということでございます。それから、一番下のほうは先ほど申しました、子育て教室、これを始めたときの活動の様子でございます。以上でございます。

#### 小野山厚陽公民館長

それでは、厚陽公民館の事業実施計画案を申し上げます。資料20ページと21ページでございます。公民館としましては、行事としては、もう、いつものとおりの行事であります。主催講座としまして、一般で、園芸講座、ハイキング講座、ガーデニング講座等を予定しております。子どもの居場所作りとしまして、あそびの城厚陽、また、夏休みと春休みの工作教室等を実施したいと考えております。重点施策に書いてあるとおりでございますが、まず最初に、講座の充実を目的として、地域の人たちの希望される講座を、実施していきたいと思っております。次に、ふるさとづくり協議会や地域関係団体との連帯を強化し、事業の推進に今以上努めてまいりたいと思っております。次に、子どもたちが集える公民館づくりを目指し、地域コーディネーターとの調整、強化に努めてまいりたいと思っております。以上でございます。

#### 佐々木埴生公民館長

最後になりました、埴生公民館です。資料はありますが、資料の全部は大変ですので、二枚目の23ページのふれあいの中の埴生ふれあい運動会、まだこれ、名前が仮なんです、

今年初めて公民館長を務めまして、埴生地区の課題を私なりに受け止めたのは、まずひとつは、次代を引っ張っていくリーダーが育っていないというふうに感じました。それから、この後の複合施設の説明になりますが、三年後に、大変立派な複合施設が出来上がります。ただ、これが今日に至るまでには、本当に地域を二分するような、大変生みの苦しみがあったと。したがって、いかに地域の連帯感とか絆を深めていくか、これを公民館が担っていく役割だろうと思っています。ということで、一番考えたのは運動会が、春に2回、地域と学校と二つあったんですが、これを一緒にすることで、今の二つの課題を解決できないかというふうに考えました。これまで運動会、小学校をどうしても一緒にすると、学校教育活動の運営と非常に難しくなるということで断られていたんですけど、昨年からお願いをしまして、ようやく、2月15日に小学校の校長先生と、地域のおもだった方と集まっていたいて、来年度は一緒にするという話で話し合いが決まりました。あとはこの運動会を、地域のリーダーとして意識を持って取り組んでいただくことを、そして、三年間限定となりますけど、記念事業として、地域でしっかり盛り上げていきたいというふうに考えております。まだ他にもありますが、運動会ということでお話をさせていただきます、以上です。

#### 岡本議長

はい、今29年度の公民館の事業の実施計画ということでお話をいただきました。各公民館の新規の事業ということで取り組んでおられますが、委員の皆様方に、何かご質問があればお受けしたいと思います。

#### 石川委員

質問じゃないんですけど、コミュニティスクールが始まりまして、小中学校の対応がですね、小学校のほうは、コミュニティスクールというのに、大変ご理解されて年度当初から、地域の皆様方に情報を提供したり、また吸い上げたり、あるいは、協力体制を求めたり、ということで大変うまくいっているんですが、中学生、中学校になりますと、年度当初はコミュニティスクールに対して、私の校区だけかもしれませんが、大変理解が薄かったんですが、ところが年度後半になりまして、コミュニティスクールに対しての大変理解度が増えまして、地域参画、特にわれわれの校区ではですね、生徒さん自ら地域の清掃作業をはじめとするいろんな諸行事に参加され、私、大変感心しているところです。先だって有帆校区で、ふれあいウォーキングがあったときに、中学生の皆様方がわざわざ参画されて、お手伝いされているその姿を見たときに、ああ、素晴らしく中学校を、これはほんとに、コミュニティスクールの模範になるような取り組みがされておるということで、私も本当に感心しました。昨日、たまたま、ふれあいカローリング大会というのが体育館であったんですが、この大会におきましても、参加された中学生の皆様方が、選ばれた生徒さんなのかもしれませんが、素晴らしい生徒さんたちで、例えば横の交流、12校区からみんな代表で出られたんですけども、素晴らしいその試合を通じて、その行事を生徒さん達がコミュニティを捉えている

と言ったところで随分、年度当初と比較して、生徒さんのその考え方とか姿勢が、大変よくなったということをご報告させていただきたいと思います。大変うれしいことだと。これからは例えば、この公民館運営審議会では、学校教育と社会教育とは、ある意味では、リンクするところがあるんで、例えば学校教育というのを担当される市のほうの担当者をこちらのほうに、オブザーバーでもなんでもいいですから、出席していただくような方向性も、これからは必要ではなかろうかなというふうに思うわけです。

**岡本会長**

はい、事務局の方で何か回答ありますか。

**和西中央公民館長**

私も昨日、カローリング大会に行かせていただいたんですが、冒頭ご挨拶させていただいたんですが、そこまでに、警察の交通指導等がありまして、本番に入るまでに式が長かったんですが、その間、中学生の皆さんが、じつとといえは変なんですけど、非常に聴くという姿勢を持っていたというのを、私、感激いたしまして、これはやはり、有形無形の成果というか、いろんなところの成果が反映されているのかなというふうに感じたと思います。それから、学校教育の担当者の出席というお話がありましたが、今日、下瀬主幹と松浦 CS コンダクターが二人出席しておりますので、このような形というのは、これから来年度以降も引き続きしていきたいと、続けていきたいと思っております。

**岡本議長**

はい、他にご質問等ございましたら。藤田さん。

**藤田委員**

出合公民館にお聞きしますが、防災講座を10回やるんですか。

**能勢出合公民館長**

はい、年間ずっと、毎月、五月から二月まで、仕組んでおります。

**藤田委員**

毎月やっているんですね。だいたい参加者はどれくらい。

**能勢出合公民館長**

9名か10名か、だいたいそのくらいです。

**藤田委員**

災害はおこりますから、重要なことですね。各公民館が先程言われたように、このコミュニ

ティスクールに対する学校、家庭、地域の公民館活動が、大変重要になっておるといように私は思っております。ということでいろいろと、これからの公民館の講座にそれぞれ、この子どもたち、小中学生が参加できる、子ども講座をしっかりとやったらいいなと思っております。

#### 岡本議長

他にございませんか。

#### 石川委員

それと付け加えていいですが、もう各校区では始められていると思うんですけど、先日の本山校区のふれあい祭りがあったときに、東京理科大の生徒さんたちが、車をもってその説明をされたり、エンジンのかけ方等を説明されたんですけど、最近は東京理科大の生徒さん達が地域事業に入っていかれて、そういうお祭りとかなんか参画されているので、ぜひともこれから市立大学になったんですから、地域行事に山口東京理科大の生徒さんをできるだけ参画していただくように、できましたら、今度は、小中高大まであわせて地域活動に参画できるよう取り組み、投げかけを教育委員会のほうでもしていただくともっともっと連帯が深まるのではないかという思いがしますので、その辺りのご指導もですね、よろしくお願い申し上げます。

#### 岡本議長

事務局、今のご意見、是非お願いしたいと思います。他にございますか。なければちょっとひとつだけ私の方から、赤崎公民館のほうからトレジャーカプセルですかね、タイムカプセルの話がありました。もう少し、詳しく説明いただいてもいいですか。

#### 木原赤崎公民館長

今年度初めてスタートしたわけですが、児童の思い出の作文を書いていただいて、昔タイムカプセルというものがありました。それが、どこの地域でもそうでしょうか、埋めたものが10年20年先には環境が変わって、どこに埋めたかわからなくなるというのが現状です。そこでこのたび、スチールケースを買ってそれを公民館に保管してあります。そして歴代の館長がその鍵を保管して申し送ることにしております。8年後の成人式には、また公民館でみんなが、卒業生が再会しようという約束でございます。

#### 和西中央公民館長

若干、補足させていただきますが、このアイデアが新聞記事にもありますとおり、学校運営協議会の中で協議されて実施されたということに、非常に意義があるのかなと思います。公民館と学校だけじゃなくて、コミスクの、その学校協議会の中でこういう事業をしたらど

うだろうという話が、地域、関係者の皆様がいいことだなということで始めたというところが、今回の赤崎の試みの素晴らしいところだなというふうに思います。親と、親でも先生でもない大人が8年先の成人式まで、地域でお祝いしていこうということを企画されたというところで、私もこの場に行かしてもらったんですけど、非常に良い現場というか、場だったなあというふうに感じておるところです。毎年こうやって、このロッカーの中に作文が入ってて、8年先、地域のみんなでお祝いをしようと、成人をお祝いしようという試みで、実際に始まるのが8年後になるのかなと思います。

**岡本議長**

はい、ありがとうございました。

**石川委員**

今回、もうひとつだけお願いがあるんですが、これから高齢化社会になりますと同時に、公民館というのが地域の交流の施設ということで、大変重要な役割が出てくるだろうと思います。その時に高齢化社会に対応するために、今度赤崎公民館でエレベーターが設置されます。当然、お年寄りが利活用しやすいような施設になるが、年次的に各公民館にも、これを設置していただくように、予算化していただきたいと思いますので、ぜひ、それを教育委員会としても、対応していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

**岡本議長**

事務局で何かありますか。

**和西中央公民館長**

今回、赤崎公民館にエレベーターが付きまして、来週、完工式ということになりますが、残りの二つ、厚陽公民館と出合公民館ということで、市民館については、管轄が市民館ということで、コメントは差し控えさせていただきますが、出合公民館と厚陽公民館につきましても、エレベーター設置という考えももちろんあったんですが、耐震化の問題がありまして、見送ったという経緯があります。今、委員さんのご意見をいただきましたので、今後も高齢化に対応ということで、ハード面での整備ということで、教育委員会としても、引き続き検討させていただきたいというふうに思います。

**岡本議長**

それでは今、平成29年度の公民館の事業計画ということでお話いただきました。これではよろしければ、皆様のご了解をいただきたいと思いますが、挙手をお願いします。よろしいでしょうか。全員賛成です。よろしく願いいたします。それでは続きまして、埴生地区複合施設整備事業について事務局、お願いします。

#### 臼井社会教育課長補佐

はい、私の方からご説明申し上げます。埴生地区複合施設の建設にあたっては、市長が平成25年度から地元に入りまして、途中、ちょっと中断いたしましたけども、14回の地元協議を重ね、予算化をし、今年度の7月臨時会において、予算の議決が行われました。その後、教育施設研究所というところと、業務委託契約を締結しまして、基本設計をまとめています。お手元の資料は、基本設計説明書の概要版ということで2月の下旬にホームページでも公表しておりますのでございます。めくっていただきますと、コンセプト、それから配置計画、最後のページには平面図があらうかと思えます。大体市長との協議の中で、大まかな地元の合意が得られておりまして、まず、建設場所は、現埴生中学校の南側の休耕田を取得して、そこに建設していく。物理的に小学校、中学校、複合施設が隣接することから、学社融合を強く意識した施設とすると、複合施設の中には、支所、公民館、児童クラブ室の3つの機能からなる、ということが決まっております。そのうち、基本設計をまとめる上で、様々なご意見を地元からお聞きするというので、建設委員会というのを設けまして、計7回、ご意見を伺う機会がございました。そのご意見を吸い上げる中で、まず高齢化社会、先ほど委員さんからもご意見いただいておりますように、平屋建て、それからアプローチについても勾配に配慮して、お年寄りの方が利用しやすい施設にするということにしております。それから、やはり駐車場というのが、ある程度、小中複合施設がですね、近接してある状況の中で、たくさんの方がご来場されるイベントも組みたい、といったところからだいたい、80台から90台という話が、当初の市長協議の中で、現状の計画では、すべてあわせて90台としております。複合施設の中に、おもいやり駐車場を含む17台、小中の西側に、59台。一番北側のほうに、臨時駐車場として14台を整備するというので合計90台をとっております。平面図を見ていただきますと、多目的室、団体企画室、和室、調理室、それから会議室が公民館の機能となっている。注目すべきは、やはり多目的室かなという気がしております。で、プロットした結果、椅子だけ並べると、272名収容できる多目的室としております。それから、地元の要望を受け応える形で、玄関前に展示ギャラリー、図書コーナーを予定しております。現状確か、4千冊ぐらいですかね、プロットしてこれも、玄関脇の図書コーナーですべて収納できるかと。かつ、公民館活動を常時アピールできるような設置ギャラリーにしたいということでございます。あとは、トイレの話題であったり、あるいは採光、防音、そういったところのご意見をいただいております。この平面図には出ておりませんが、国道190号線に隣接することから、南側については二重サッシを採用することとしております。今年度、ちなみに申し上げますと、用地の取得にかかった、測量業務、あるいは地質調査、用地を取得するための事業認定申請にかかる業務委託などを中心に、今年度実施しております。ほぼ予定の業務を終了する予定でございます。29年度は、今度は実施設計に入ります。この基本設計をもとに、実施設計に入る。それから隣接するアパートがございまして、工事の影響調査するための家屋調査、外構擁壁を含む実施設計、それか

ら中に法定外公共物がちょっと混ざっておりますので、そうした整理をするということを考えております。30年度、31年度でこの建設を実施しまして、現行の公民館を32年度に解体すると、28年度から32年度までの、5カ年間で計画している事業でございます。私からは以上になります。

石川委員

会長、いいですか。

岡本議長

はい、どうぞ。

石川委員

我々は埴生地区のお祭とか、イベントに時々出席させていただくんですが、その時に埴生地区は子どもさん、生徒さんがピアノをやってる方がものすごく多いんですよ。そのためにももちろんピアノも今のピアノでいいのか、新しいのを導入したほうがいいのか、それとピアノといったとき床がですね、やっぱりピアノということになると、かなり強固なものが必要なのではないかと。今おっしゃったように防音装置等、ピアノをやられてるいろんなところに配慮をしていただきながら、この施設にやっぱり、有効に活かしていただきたいなというふうに思っているんですけども、よろしくをお願いしますね。

岡本議長

このことにつきまして、なにか聞いておきたいということがあれば。

高橋委員

いいですか。

岡本議長

はい、どうぞ。

高橋委員

この中に防災倉庫というのがあるんですけど、これは、どういった規模で、あと維持管理というのはどこがするんですか。公民館がするんですか。わかればでいいですよ。

佐々木埴生公民館長

埴生公民館です。防災倉庫、今、すでに公民館の駐車場のそばに設置してあるものを、新しい場所に移動するだけなんですけど、中には、例えば停電時にガソリンで発電するバッテリー



一とか、防災にかかわるものが、その中かなりしまっておりまして。もちろん、今の倉庫以外にも例えば、お水がたくさん備蓄してありますが、これは、倉庫の中には入っておりません。

**高橋委員**

維持管理といたらどこの予算をもってやっておられるんですか。

**佐々木埴生公民館長**

今倉庫自体は別に、特にお金もかかっておりませんので、そのまま中に入れて、必要などきに、テントとかも入っています。それから、机も入っていますので、そういったものを利用される時に貸し出しているという感じです。

**高橋委員**

貸し出し用に、施設に使うんじゃなく、貸し出し用に置いてあるんですか。これ、避難所になってないですよ、ここは。

**尾山教育部長**

第一次避難所になってます。この防災倉庫は、市の総務課が管理しています。

**高橋委員**

危機管理室のほうですね。

**尾山教育部長**

はい、そうです。

**高橋委員**

有帆は違うんですが、うち関係ないんですけど、危機管理室はね。今、福社会館の方においでいるんです。例えば毛布とか食料一部があるんですが、それを福祉がやっているんです。いい方法があれば整備できるような、新設じゃなしに、既設の建物で整備しておられればと思うんですが。それから、もう一点は、複合施設に企画室があるんですね、中に。これは誰が使って、どういうときに使うための企画室なんですか。というのが地域の者が、いろんなクラブとかそういうのありますよね。役員の会議とか、いろいろな書類作ったり、作業するわけですが、そういうものをされるのか、どういう企画室ですか。

**和西中央公民館長**

市内の公民館は団体企画室というのがだいたいのところにはありまして、ここはそうい

うのを考えて設置しているんです。地域の方が気軽に、地域団体の方々が気軽に会合できる場所ということで、団体企画室というのを設けております。ただ、公共の部屋にありますので、条例上、外すわけにはいきませんので、今、条例上は一時間くらいということで、各公民館あるんですが、それと同様のことをさせていただいています。

**高橋委員**

わかりました。有帆の公民館はですね、自分のとこばかり言うてはいけませんが、一番古いんですね。倉庫もありませんし、来てみていただいたらわかると思うんですが。良くなる方にどんどん良くなっていけばいいんですが。いろいろできるよう、まあ、使用できるようにですね、兼用というんですかね、図書室とか、ほとんど人がいないですよ。前回も出したと思うんですが、使わせてはもらっているんです。そういうことで、維持管理とかいうもので倉庫の関係について、企画室について、現場に来てもらって、いろんな判断をしてもらいたい。いろいろ大変困っております。

**岡本議長**

はい、ありがとうございました。その他に何かございますかね。

**石川委員**

今、高橋委員さんがおっしゃったんですけど、今、公民館施設で耐震構造になっていない施設がどのくらいあるんですか。

**岡本議長**

はい、どうぞ。

**和西中央公民館長**

はい、新耐震は昭和55年、6年です。それ以前に建てられた建物が該当になります。山陽側で言いますと厚陽、それから出合ですね。それで小野田側で言いますと、市民館、高千帆は…、

**石川委員**

高千帆はなっていないと思いますけど、僕は。

**和西中央公民館長**

なっていないですね、高千帆も昭和55年以前ですね。そういったところになります、はい。

**石川委員**

第二次総合計画が今作成中ですから、特に人がお集まりになる、そういう施設、あるいは今からその公民館の役割ということが、当然皆様方もご認識されていると思う。そういったときに、年度計画でいいですから、一度にはできませんし、予算の問題もあるでしょうから、利用頻度の多い施設、それは必ずそういうことで大切、例えば、高千帆校区で言えば、駅前の振興計画等もありますので、それにあわせて今の場所がいいのか、あるいは、その振興計画にあわせて、そういう公共施設をもってくるというようなことも、例えば一例ですが、そういったものも含めて、ある意味では避難場所にもなっているんですから、そういうことを、教育委員会だけではなくて、総合的にその辺りを市のほうと協議しながら、発案して起案していただければというふうに思いますので、よろしくお願ひします。あわせて申し上げますけど、教育委員会関係ないんですけど、高千帆福祉会館も、耐震構造にはなっていないと思ひます。

**岡本議長**

いいですか。終わりましたか。

**高橋委員**

管理者の人は今の件はですね、ちょっといろいろありますけど、現場を確認して判断してもらえないですかね。今さっき言ったように、防災のですね、いろいろあるんですけど、燃えるごみか何かをいろいろ出すんですけど、その辺が、どっちが権限もっているかよく分かんんですけど、まあ、いけないと言うほうが多いわけで。難しいということが、その辺をやっぱりですね、教育委員会のほうで見てもらって、我々の公民館、みてもらったら分かりますんで、それとなんというか、部屋数も少ない問題もありますのでね、是非お願ひします。

**岡本議長**

いいですか。平中さんどうぞ。

**平中委員**

先ほどから、防災倉庫のことが、ちょっと出ております。まあ、所在について、いま埴生公民館さんのほうから、公民館が管理をしているということでありまして、尾山部長の方からは、総務課が、危機管理するのは総務だから、総務課のほうで管理しているということがありました。それで公民館が本来、防災倉庫の管理をするのは難しいでしょう。その辺の所在をはっきりされたほうがいいんじゃないですかね。埴生の公民館も、埴生の支所がやるとか、その辺を所在をはっきりされたほうがいいと思ひます。よろしくお願ひします。

**岡本議長**

事務局の方で、回答できますか。

**尾山部長**

詳しくは、ちょっと、防災の担当がということによく分からないんですけども、今ご提案がありました、ご指摘のありましたことについては、まず市の総務課と話し合っ、現地のほうにも良く行くことがありますので、そのあたりは対応させていただきたいと思います。どうなったかについては、次回の会議でご報告させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

**岡本議長**

はい、どうも、それでは次に参ります。第69回優良公民館表彰の受賞について、ということで、お願いします。

**柿並主任主事**

はい、まず優良公民館表彰ということなんですけれども、公民館、その他の類似施設が、社会教育活動を行う施設の中で、特に事業内容や方法等に工夫を凝らして、地域住民の学習活動に貢献してるものを、優良公民館として、文部科学省が表彰するものとなっております、毎年行っております。今年度は全国で73館の受賞がありました。山口県では、岩国市の中央公民館通津分館、それから、宇部市の上宇部ふれあいセンター、それから山陽小野田市の厚陽公民館が受賞ということになっております。小野山館長には、3月1日に東京の方へ行っていただいてですね、直接、表彰を受けていただいたところでございます。それでは、簡単に、小野山館長に、受賞になった経緯、あと、この厚陽公民館のほうで、どのような取り組みを行っているかというものを、ちょっとご説明させていただきます。お願いいたします。

**小野山館長**

それでは、私のほうから受賞の報告をさせていただきます。ご承知のことと思いますが、厚陽公民館と皆様の公民館とは、特段変わったことはしておりません。まあ、優良公民館の選考理由として考えられるのは、平成26年度から地域教育ネットの事務局、会計を学校から公民館に移したことが一つと、地域教育協議会を立ち上げ、毎月1回の協議会を行い、小中学校、保育園、PTAと地域で協議を重ねたことの二つが考えられております。このことによって、地域教育ネットワークを活用しながら、地域コーディネーターと公民館が橋渡しをしながら、奉仕作業、朝の見守り、プールの見守り、読み聞かせなど、いろんなことを実施してまいりました。特に、平成27年8月6日の世界スカウトジャンボリーには、公民館サークルの書道教室、茶道教室、浴衣の着付けのお手伝いをすることができました。また、今年度は、学校支援として、書道教室、洋裁教室、茶道教室、浴衣の着付けや、フラダンス

の披露、持久走大会や、立志式の見守り、その他に公民館のきり絵教室を、学校の図書室で実現いたしております。これとは別に、公民館活動では、子どもの居場所作りとして、毎月、第二土曜日に、『あそびの城厚陽』を行っています。内容については、ペットボトルロケットを製作し、完成後に県立サッカー場にて、水遊びを兼ねて、ロケットの発射実験を行っています。また、年末には、正月飾りを作ったりしております。これに加え、春休みと夏休みを利用して、工作教室等を開設したりして、いろいろなことが支援できるようになりました。その他に31年間、緑と花の推進協議会が、老人会の方と、中学校の全校生徒全員による播種と苗配布を共同作業しております。その活動後でも、はがきや手紙などで、交流を続けていることなど、地域、学校、家庭をつなぐ拠点としての活動が評価され、今回の受賞につながったのではないかと感じております。その意味からも、厚陽地区あげての受賞であると、地区住民と共に、大変喜んでおるところでございます。この度は本当にありがとうございます。最後に千々松会長から一言、お願いを申し上げます。

#### 千々松委員

私が、厚陽地区の自治会協議会会長と、公民館運営協議会の会長をしております。今、小野山館長の方からお話がありましたが、特別、これ見てですね、厚陽校区は、よその地区と特別変わったことはしておりませんし、同じようなことをしとると、私も思っております。

それと、一番、私が思っているのはですね、地域の方と、我々と、公民館のつながりをですね、ひとつは、厚陽っ子だよりと公民館だよりというものが毎月、発行しております。地域の行事がありましたら、必ず地域の皆さんにですね、知っていただくと。知っていただくということは、公民館の行事を手伝っていただきたいと。とにかくですね、公民館の活動についてですね、皆さんが参加されていないんですね。されてるのは一部の人が参加して、協力してやると。それでは長く続きませんので、できるだけそういう行事を、地域の皆さんにお知らせしてですね、参加していただくと。その例で言えば、いま、読み聞かせのですね、小学校の保護者と、あるいは地域の老人会の皆さんで、活動しておりますから、始めは10人ぐらいだったんですが、今頃はですね、17、8人くらい、それくらいか、それで毎月二回くらい、小学校一年生から六年生の読み聞かせをやります。そうしますとですね、当初は、我々もですね、月二回は必ず読み聞かせをやりましたが、今年からはですね、一回か二回くらいで済むようになりまして、少しはそういう活動が、地域の皆さんに知っていただくと。それを知っていただくことによって、小学校の子どもたちが理解すると。学校に行きますとですね、必ず、小学生の皆さんがですね、ああ、読み聞かせのおじちゃん、ありがとう、といますからね。やはり、地域のそういう活動を通じてですね、子どもが寄ってくると。そういうことが地域のですね、いろいろ地域の活動ですね、ふれあい文化祭とか、市民運動会とか、そういうところに参加していただく基盤になるんじゃないかと思ってまして、いろいろそういうことしております。まあ、3年か4年前にもですね、国土交通省のですね、緑と花のですね、表彰を受けました。これについても、何十年でですね、苗の配布をしてきた

活動が定着してこういうものが頂けたと思ってますんで、今後も我々もですね、公民館と一緒にになりまして話をしながら、ここで得たものを話をしながら、いろいろの行事を話の中で進めていくということが、いいんじゃないかと思っていますんで、いろいろ喧嘩もあるでしょうし、意見の違いもあると思いますが、調整しながらやっていきたいと思ってますんで、一つの励みであると思ってますんで、非常に喜んでおります。どうもありがとうございました。

**岡本議長**

文部大臣表彰ということで、本当におめでとうございました。

**石川委員**

いつ披露宴とか、することとかあるんですか。

**千々松委員**

はい、あります。

**岡本議長**

ちょっとお聞きしたいんですが、過去こういうふうな賞をいただいた事例はございますか。

**和西中央公民館館長**

合併後初めてでして、合併前の小野田市時代に有帆公民館と須恵公民館が受賞しておりますけど、合併後は初めてです。

**石川委員**

岡本会長、最後にいいですかね。昔ほら、公民館長さんって、だいたい市の職員の方がされていたじゃないですか、ことも多いと思います。今公民館長さんの身分っていうか、身分保障がですね、ちょっと少し、これからの必要性、重要性を考えたときに、もっと身分保障してあげるべきではなかろうかなというふうに思うわけです。そういったところで、教育委員会の方だけの問題じゃないでしょうけども、市全体として、これからの公民館のあり方をよくご説明、執行部でご説明していただいて、公民館長さんの身分保障をもう少し、アップできるような、施策も必要だろうと思いますし、これから負われる、その、課題とか重責というのは、大変なものがあるかと思うんです。ぜひ、その辺りは予算がないでしょうけども、特に人を育てることというのは、大変なことですから、そういった意味で、公民館長さんの、身分保障のアップのために、教育委員会執行部は、全力をあげて、その辺りの対応をしていただきたいということを、重ねてお願いしますね、よろしく願いいたします。

**岡本議長**

石川委員のご発言、もっともだと思いますので、ぜひ努力をしていただきたいなと思います。それでは報告事項につきましてもですね、終わりました。これだけちょっと言うておきたいということがございましたら、・・・ないですね。

**一同**

はい。結構でございます。

**岡本議長**

それでは、第二回の運営審議会、すべて終わりましたので事務局の方にマイクをお渡しします。

**臼井社会教育課長補佐**

岡本会長、どうもありがとうございました。最後に、3月末をもって館長を退任されます、赤崎、小野田、厚陽、3館の館長からですね、一言ずつあいさつをいただきます。

**木原赤崎公民館長**

赤崎公民館の木原です。6年前、当時この市内で一番最後に地域委託館になったときに、館長を仰せつかりました。就任当初、なれない協議に戸惑いながらも、地域の皆様の温かいご支援、ご協力を賜りまして、今日までなんとか館長としての勤めを果たすことができました。どうもありがとうございました。館長退任後も、これまでの経験を生かして、地域づくりのために協力をしていきたいと思っております。これからもどうかご支援よろしく願いいたします。

**岡田小野田公民館長**

小野田公民館の岡田です。今は女性一人の館長なんですけれど、委託館として何も分からないところを、中務会長にいろんなところに、会議とか誘っていただきまして、いろんな人と合わせていただいて、いろんな情報をいただきました。この6年間、自分も勉強しながら、たくさんの人と触れ合って、無事6年間公民館長として、仕事を終えることができるようになりました。大変この6年間、自分も勉強になりましたし、とても楽しくいろんなことに挑戦することができたのは、自分にとって大変いい時間だったと思います。これからも小野田の発展のために、いろいろ協力できるところはしていきたいと考えております。いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

**小野山厚陽公民館長**

最後になりました、小野山です。館長任期が4年ということで、平成23年度に館長の

任を受けましたが、2年間任期が延びまして、今日まで、社会教育課の指導と、皆様の暖かいご助言をいただきながら、なんとか持ちこたえることができました。また、先ほどありましたが、3月1日東京の文部科学省において、優良公民館という素晴らしい賞を受賞することができ、身に余る光栄でいっぱいです。これを励みに退職してからも、体の続く限り私なりに頑張らせていただきます。皆様も体調にはくれぐれも気をつけられて、公務にご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。

**臼井社会教育課長補佐**

はい、ありがとうございました。以上をもちまして、平成28年度第2回公民館運営審議会を終了いたします。新年度に入りまして、次回開催予定はですね、8月を予定しております。どうぞよろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。